

供用施設の状況(2017年5月1日現在)

地区	施設名	施設の状況	今後の見通し
東海	JRR-3	<p>必要な補修は完了しており、点検及び耐震解析による評価の結果、原子炉建家、設備機器ともに既往の安全基準に照らして健全性を確認しました。この確認結果は、平成24年11月2日に原子力規制委員会に報告しております。また、平成26年9月26日、新規制基準への適合性確認のために原子力規制委員会に対して原子炉設置変更許可の申請を行いました。</p> <p>現在までに確定している再稼働までのプロセスは以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 規制当局による原子炉設置変更許可申請書の審査 ② 新規制基準への適合性が確認された後、施設定期検査を受検 <p>【情報提供】 http://jrr3uo.jaea.go.jp/</p>	<p>原子力規制委員会へ提出した原子炉設置変更許可申請書について、審査が進められております。今後は、規制当局による適合性の確認及び施設定期検査の受検を経て、さらには、関係自治体等の理解を得た上で再稼働の運びとなります。早期の運転再開を目指し、精力的にその準備を進めていきます。</p>
大洗	材料試験炉施設	<p>施設中長期計画(平成29年4月1日)において、材料試験炉施設(JMTR)は、廃止施設として位置付けられました。このため、原子力機構の供用施設の指定を解除しました。なお、JMTRホットラボ施設については供用施設の指定を継続しておりますが、現在、排気筒の取替えに伴い施設を停止しております。</p>	<p>JMTRホットラボ施設の利用申込の受付については、現在、見合わせております。</p>

上記以外の供用施設については、通常どおり利用可能です。ただし、「常陽」については、原子炉施設が定期検査中のため、照射後試験施設のみ利用可能です。(詳細はこちら)
 なお、「JRR-4」については、文部科学省日本原子力研究開発機構改革本部が決定した「日本原子力研究開発機構の改革の基本的方向」(平成25年8月8日)を受け、原子力機構は「日本原子力研究開発機構の改革計画」を策定し、JRR-4は廃止措置計画を策定する施設となりました。このため、廃止措置計画を平成27年12月25日に原子力規制委員会に対して申請したことに伴い、平成28年1月13日に原子力機構の供用施設の指定を解除しましたので、今後ご利用頂くことはできません。